

LEON-VICTOR DUPRE

レオン・ビクトール・デュプレ (1816~1879)



作品名 牛のいる風景

種類 板に油彩

サイズ 15.7×25.0cm 仏2号

1860年 作 右下にサイン

略 歴

フランス中西部にあるリモージュに生まれ、兄ジュール・デュプレに師事画題や様式に強く影響を受ける。リムザンやベリー地方、リラダンやベリー地方、リラダン、ノルマンディーを旅して風景を描いたが、バルビゾンにもしばしば滞在し、近郊の風景を描いている。サロンでは1849年にオワーズ河のほとりを掻いた風景画で三等賞を得る。兄の好んだ荒々しいタッチで描かれた嵐の前の激しい風景よりも、落ち着いたのどかな田園風景を好み、暖かな色彩で描いた。1873年、兄との大規模な展覧会がパリの画廊で開催され一層評価が高まった。パリで没

現在では兄ジュールと併せたデュプレ兄弟として七星の中に数えられる程、彼の作品は兄と同等に近い評価を受けている